

(福)五常会

中津川市・高齢福祉

従業員数 / 男性68名 女性188名 計256名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①研修を通じて、より高い自己実現に邁進できるよう支援
- ②子育てに寄り添い、柔軟に無理なく働ける体制を整備
- ③広域先駆的な「連携推進法人」を創設し、安心できる体制づくりを推進



利用者個人を尊重する温かなサービスを提供する。交流を通して、自身の感性を高め成長につなげる。

五常会では、誰もがスキルアップを図りながら、いきいきと働ける職場づくりを目指している。新しい人事制度では目標管理シートで自分の「なりたい姿」を明確にし、考課においては「責任感」や「積極性」、「協調性」といった福祉の職場で必要な情意的評価も重視し、働きやすい環境の構築に取り組んでいる。さらに、Eラーニングによる研修プログラムや外部研修への参加、実践発表の機会を設けることで、職員一人ひとりの成長を後押ししている。

誰もが成長でき、温かく開かれた職場を目指す

新任者には長期の研修期間を設け、介護や看護に対する不安を解消し、安心して現場に入れるよう配慮している。また、多様性を尊重し、経済連携協定(EPA)や特定技能、留学制度などを通じて積極的に外国人職員の受け入れを実施。日本語検定や介護福祉士試験への支援を行うことで、多くの合格者を輩出している。

子育て支援にも力を入れており、育休取得率は100%を維持。男性の子育て参加も後押ししており、職場復帰の形態も柔軟に選べる体制を整えている。また、職場復帰後は正職員からパートへの雇用形態の変更にも柔軟に対応。落ち着いた段階で正職員に戻ることも可能で、職員全員で協力して支えあい安心して働く職場環境となっている。

さらに、2022年には北海道函館市と東京都八王子市の社会福祉法人と「社会福祉連携推進法人」を設立。災害緊急時における相互支援協定を締結し、大規模災害や感染症などで大きな被害に見舞われた際



毎年参加のリレマラソン。襷をつなぎ、最後は皆でパンダを介護しながらゴール。「ひとりとは皆のために」という職場を目指している。

も事業継続ができる体制を整備した。日頃から交流や研鑽を重ね、広い視野を持ちながら、利用者と職員を支える体制を強化している。

今後も業務効率化と生産性向上に取り組み、職員の安心と成長を大切にしながら負担軽減を目指すとともに、特養・養護・通所・居宅・包括など多様な事業を展開し、地域社会に貢献し、地域とともに歩む福祉法人として取組みを続けていく。